



ユーザーマニュアル

Openloop Pay ミニウォレット



株式会社ハウディ・クリプト
Haudi Crypto, Inc.

Version 0.6.0
2026-08-02

目次

1. はじめに
2. 対応環境
3. ウォレットの接続
4. 残高の確認
5. トークン・ネットワーク管理
6. 送金する
7. QRコードで送金内容を読み込む
8. アカウントの切り替え
9. 履歴とCSVの書き出し
10. dApp との連携（拡張機能のみ）
11. セキュリティ
12. トラブルシューティング
13. 仕様
14. お問い合わせ

1. はじめに

Openloop Pay は、ステーブルコインが使いやすいミニウォレットです。暗号資産の**残高確認**と**送金**を行うことができ、デスクトップのブラウザ拡張機能、およびスマートフォンのウェブアプリとして動作します。

対応するトークン・ネットワークは EVM 系（Ethereum とその互換チェーン）に限られます。組込済のステーブルコイン（JPYC / USDC / USDT）に加え、他の EVM トークンを追加して使えます。詳しくは §13「仕様」をご覧ください。

秘密鍵はハードウェアウォレット Openloop（またはお使いのウォレット）の中に留まり、Openloop Pay が秘密鍵を保存・取得することはありません（**非カストディ**）。

Openloop Pay は、それ自身が秘密鍵を持たない**コンパニオンウォレット**です。ウォレットの本体（鍵）は Openloop デバイスや WalletConnect で接続したウォレットの側にあり、Openloop Pay は残高の表示と、署名のための橋渡しを行うだけです。そのため、ブラウザに鍵を保存する一般的なウォレットと異なり、たとえ Web アプリや拡張機能が攻撃されても、そこに盗まれる秘密は存在しません。

1.1 主な機能

機能	説明
ウォレット接続	Openloop を USB / Bluetooth で接続、または WalletConnect で対応ウォレットを接続
残高確認	保有トークンの残高と、ガス（手数料）用資産の残高を表示
トークン・ネットワーク管理	表示・送金するトークン×ネットワークを選び、追加・削除する
送金	送金先・金額を入力し、接続したウォレットで承認して送金
QR 読み取り	支払いリクエストの QR コードを読み取り、送金内容を自動入力
履歴	送金履歴の確認と CSV 書き出し
dApp 接続（拡張機能のみ）	ブラウザ上の dApp と接続し、要求された署名を Openloop デバイスで承認

1.2 接続できるもの

- ・ **Openloop ハードウェアウォレット** — デスクトップでは USB、スマートフォンでは Bluetooth で接続します。署名は Openloop 本体の画面で確認・承認します。
- ・ **WalletConnect 対応ウォレット** — Openloop Connect をはじめ、WalletConnect に対応した各種ウォレットを接続できます。
- ・ **dApp（ブラウザ拡張機能のみ）** — ウェブサイト上の分散型アプリ（dApp）が Openloop Pay を通じて署名を要求できます。詳しくは §10 をご覧ください。

co

Openloop Pay

日本語

EN

☐ テストネットを表示

ウォレット

openloop

切断

0x1234567890AbCdEf1234567890AbCdEf12345678

アカウント切り替え

資産

J

JPYC

Polygon

12,345

U

USDC

Ethereum

1,580.00

ガス（手数料）用資産

POL

Polygon

2.41

ETH

Ethereum

0.032

送金

通貨

J

JPYC・Polygon

送金先・アドレス帳

直接入力

0x1234567890AbCdEf1234567890AbCdEf12345678

金額

1,000

JPYC

送金

2. 対応環境

Openloop Pay は **ブラウザ拡張機能版（Chrome/Edge のみ）** と **ウェブアプリ版（<https://www.crypto.haudi.jp/openloop/pay/app/>）** の 2 形態で提供されます。ウェブアプリ版はブラウザによって使える接続方法（デバイスへの経路）が変わります。

2.1 ブラウザ別対応表（ウェブアプリ版）

環境	USB (WebHID)	Bluetooth (BLE)	Safari 拡張ブリッジ	WalletConnect
デスクトップ Chrome / Edge	○	–	–	○
デスクトップ Firefox	–	–	–	○
デスクトップ Safari (macOS)	–	–	–	○
Android Chrome / Samsung Internet	–	○	–	○
Android Firefox	–	–	–	○
iPhone / iPad Safari	–	–	○ (要 iOS 版 Openloop Connect)	○
iPhone / iPad Chrome / Firefox / Edge	–	–	–	○

- ・ ○ = 使える / – = 使えない（ブラウザ側 API 未対応 等）
- ・ WalletConnect は Openloop Connect などの対応ウォレットが手元にあれば全環境で使えます。
- ・ Firefox は WebHID / WebBluetooth を実装していないため、デバイス直接接続は WalletConnect 経由になります。
- ・ Android Chrome は USB (WebHID) の API が名目上存在しますが、実運用の OTG 接続はまず使わないため BLE 接続を推奨します。
- ・ **macOS Safari** はブラウザ API 側で WebHID / WebBluetooth とともに未対応で、また現状 macOS 用の Openloop Safari 拡張は提供していません。macOS Safari では **WalletConnect のみ**利用可能です。

2.2 拡張機能版

- ・ **Chrome / Microsoft Edge**（Chromium 系）に対応します。Firefox 版・Safari 版はありません。
- ・ 拡張機能版は USB (WebHID) 経由で Openloop と接続し、dApp との連携（\$10）も利用できます。

2.3 iPhone / iPad Safari で使うには

Safari には USB (WebHID) も Bluetooth (WebBluetooth) の API も無いため、そのままでは Openloop デバイスに直接接続できません。**iOS 版 Openloop Connect** アプリをインストールし、そ

れに同梱されている Safari 拡張機能を有効化することで、iPhone / iPad Safari から Openloop デバイスへ接続できるようになります。

設定手順：

1. App Store から「Openloop Connect」をインストールします（iPhone / iPad 用）。
2. iOS の「設定」→「Safari」→「機能拡張」を開きます。
3. 「Openloop Connect」をタップし、スイッチを **オン** にします。
4. 「Web サイトの許可」→「すべての Web サイト」を「許可」にする（推奨）。あるいは Openloop Pay を開いた時に Safari アドレスバー横の「**あA**」ボタン → 「Web サイトの設定」から **crypto.haudi.jp** のみ許可することもできます。
5. Openloop Pay を開き直すと接続画面に Bluetooth 経由の Openloop デバイスが表示されます。

macOS Safari 用の Openloop Connect 拡張は現状提供していません。 macOS で Openloop Pay を Bluetooth 経由で使いたい場合は、代わりに WalletConnect (QR コード) 経由で Openloop Connect デスクトップアプリまたはスマートフォンの Openloop Connect と接続してください (§3.3)。

iOS 版 Openloop Connect アプリは、Safari 拡張機能とは別に **WalletConnect 対応のウォレット**としても動作します (§3.3)。Safari 拡張が有効になっていなくても、WalletConnect 経由の接続はいつでも利用できます。

2.4 QR コード読み取り

- ・スマートフォン／デスクトップ いずれもブラウザのカメラ許可が必要です。ブラウザによっては非対応の場合があります (§7 を参照)。

3. ウォレットの接続

アプリを開くと「ウォレットを接続」画面が表示されます。接続方法を選びます。



3.1 USB で接続する（デスクトップ）

1. Openloop をデスクトップに USB で接続します。
2. 「Openloop (USB)」を選びます。
3. ブラウザのデバイス選択画面で、お使いの Openloop を選びます（初回のみ）。
4. 接続後、そのアカウントの残高が表示されます。

拡張機能のサイドパネルでは USB のデバイス選択画面が開けないことがあります。その場合はフルタブ（別タブ）で接続してください。一度接続を許可すれば、次回以降は選択画面なしで再接続されます。

3.2 Bluetooth で接続する（スマートフォン）

1. Openloop の電源を入れ、Bluetooth を有効にします。
2. アプリで接続を開始し、表示された一覧からお使いの Openloop を選びます。
3. ペ어링後、そのアカウントの残高が表示されます。

3.3 WalletConnect で接続する

1. 「WalletConnect」を選びます。
2. 表示された一覧から接続したいウォレット（例：Openloop Connect）を選ぶか、QR コードを読み取って接続します。
3. 接続したウォレット側で接続を承認します。

接続直後は、選んだウォレットが前回まで使っていたネットワークのままになっていることがあります。送金時にネットワークが自動で切り替わらない場合は、ウォレット側でネットワークを合わせてください。

4. 残高の確認

接続すると、メイン画面に以下が表示されます。



資産	
 JPYC Polygon	12,345
 USDC Ethereum	1,580.00
ガス（手数料）用資産	
POL Polygon	2.41
ETH Ethereum	0.032

- ・ **ウォレットカード** — 表示中のアカウントのアドレス、接続方法のバッジ、コピー・切断ボタン。
- ・ **資産** — あなたが表示対象に選んだトークンの残高。右上の更新ボタンで最新の残高を再取得します。
- ・ **ガス（手数料）用資産** — 送金の手数料（ガス）に使うネイティブトークンの残高。手数料の支払いにのみ使われる通貨で、選んだネットワークに応じて**自動で表示**されます。

どのトークン・ネットワークを「資産」に表示するかは、次章「トークン・ネットワーク管理」で選びます。ガス用のネイティブトークンは、資産に選んだネットワークに応じて自動で表示されるため、通常は個別に選ぶ必要はありません。

4.1 テストネットの表示

「**テストネットを表示**」をオンにすると、テストネットのトークン・ネットワークが一覧に加わります（ガス用のテストネット通貨も表示されます）。動作確認や検証に使えます。オフのときは、テストネットは残高にも一覧にも表示されません。通常のご利用ではオフのままにしてください。

5. トークン・ネットワーク管理

表示・送金するトークンと、その対応ネットワークを選ぶ画面です。接続画面の「**トークン・ネットワーク管理**」リンク、または残高画面の管理ボタン（コインのアイコン）から開きます。

ホーム

トークン・ネットワーク管理

[← 戻る](#)

表示・送金するトークンとネットワークを選択します。ガス用の通貨は自動表示されます。

組込トークン

J

JPYC



Ethereum · 1



Polygon · 137



Avalanche · 43114



Kaia · 8217

U

USDC



Ethereum · 1



Base · 8453



Arbitrum One · 42161



OP Mainnet · 10

ネイティブトークン（送金時に選択）

E

ETH



Ethereum · 1



OP Mainnet · 10



Base · 8453

P

POL



Polygon · 137

K

KAIA



Kaia · 8217

追加トークン

C

CAKE 未確認

BNB Smart Chain · 56 · 0x0000...0056

[+ トークンを追加](#)

組込ネットワーク

E

Ethereum

1

P

Polygon

137

A

Avalanche

43114

K

Kaia

8217



画面はセクションに分かれています。基本ルールは「**組込（最初から入っているもの）は削除できず、追加（自分で足したもの）は削除できる**」です。セクションは背景色を一つおきに変えて区切っています。

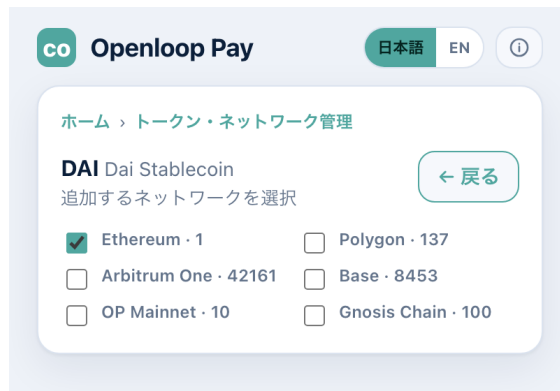
- ・ **組込トークン** — JPYC・USDC・USDT。対応ネットワークごとのチェックボックスで、表示・送金する組み合わせを選びます。
- ・ **ネイティブトークン（送金時に選択）** — 各ネットワークのガス通貨（ETH・POL・AVAX・KAIAなど）。**送金したいときだけ**チェックします。チェックしなくても、保有していれば「ガス（手数料）用資産」として自動的に表示されます。
- ・ **追加トークン** — あなたが追加したトークン。各行のゴミ箱アイコンで削除できます。「**トークンを追加**」から新しく追加します。
- ・ **組込ネットワーク／追加ネットワーク** — 使用中のネットワーク一覧。組込は削除できません。追加は削除できます（削除すると、そのネットワーク上のトークンも一緒に消えます）。

各画面の上部には**パンくずナビ**（例：ホーム＞トークン・ネットワーク管理＞トークンを追加）が表示され、今どの階層にいるかが分かります。各項目をタップすると、その画面へ直接戻れます。「**戻る**」ボタンは1つ上の階層に戻ります。

5.1 トークンを追加する

1. 「**トークンを追加**」を押します。
2. シンボルまたは名前で**検索**します。
3. 候補を選ぶと、そのトークンが対応する**ネットワークの一覧**が表示されます。
4. 追加したいネットワークにチェックを入れます（複数可）。チェックした時点で追加され、残高の取得対象になります。





このアプリに接続先（RPC）が用意されていないネットワークは、残高の取得・送金ができないため、一覧に表示されません。 検索で見つからないトークンや、一覧に無いネットワークは、「見つからない場合（手動で追加）」から、コントラクトアドレスや RPC を入力して手動で追加できます（自己責任・「未確認」表示になります）。

5.2 削除するときの確認

トークンやネットワークを削除するときは、確認画面が表示されます。ネットワークを削除する場合は、そのネットワーク上のトークンも一緒に削除されることが示されます。



5.3 設定の書き出し・読み込み

画面下部のボタンから、選んだトークン・ネットワークの設定を **書き出し／読み込み**（JSON ファイル）できます。別の端末へ設定を移すときに使えます。読み込み時は、**現在の設定を上書きする**旨の確認と、整合性のチェック結果が表示されます。

6. 送金する

6.1 送金の手順

1. 送金パネルで、送りたいトークン（通貨×ネットワーク）を選びます。

2. **送金先**を入力します（アドレスを直接入力するか、アドレス帳から選択）。
3. **金額**を入力します。
4. 「**送金**」を押します。
5. **確認画面**が表示されるので、送金先（全桁）・金額・ネットワークを確認します。
6. 「**承認**」を押し、接続したウォレット（Openloop 本体など）で署名します。
7. 送金が完了すると、トランザクション ID とエクスプローラーへのリンクが表示されます。

The image displays two screenshots of the Openloop wallet's transaction interface.

Top Screenshot: Send Screen

- 送金** (Send)
- 通貨** (Currency): JPYC · Polygon
- 送金先・アドレス帳** (Recipient/Address Book): 直接入力 (Direct Input)
- 金額** (Amount): 1,000 JPYC
- 送金先アドレス** (Recipient Address): 0x1234567890AbCdEf1234567890AbCdEf12345678
- 送金** (Send) button

Bottom Screenshot: Confirmation Screen

- 送金** (Send)
- 通貨** (Currency): JPYC
- 金額** (Amount): 1,000 JPYC
- ネットワーク** (Network): Polygon Amoy
- 送金先** (Recipient): 0x1234567890AbCdEf1234567890AbCdEf12345678
- キャンセル** (Cancel) and **承認** (Confirm) buttons
- 送金・署名内容は Openloop デバイス上でも確認してください。** (Please confirm the transaction and signature content on the Openloop device.)
- 自動で閉じます（残り 88 秒）** (Auto-close in 88 seconds)

6.2 確認画面について

- ・送金先は**全桁**表示されます。省略されません。必ず宛先を確認してください。
- ・メインネットへの送金時は注意の表示が出ます。
- ・確認画面には「**自動で閉じます（残り N 秒）**」のカウントダウンが表示されます。一定時間操作がないと、安全のため自動的に閉じます（送金には行われません）。承認を押すとカウントダウンは止まります。
- ・「キャンセル」で確認画面を閉じられます。WalletConnect での送金中も、応答が遅い場合に備えてキャンセルできます。

6.3 アドレス帳

送金先には任意のラベルを付けて保存できます。次回以降、アドレス帳から選ぶだけで送金先を入力できます。

The screenshot shows a mobile app interface for sending cryptocurrency. At the top, there's a '送金' (Send) header with a QR icon. Below it, the '通貨' (Currency) is set to 'JPYC · Polygon'. The '送金先・アドレス帳' (Recipient/Address Book) section has a dropdown set to '直接入力' (Direct Input) and a text field containing a hexadecimal address. Below this is a 'ラベル' (Label) field with the example 'クリプト・カフェ' (Crypto Cafe) and a '保存' (Save) button. The '金額' (Amount) field shows '1,000' with 'JPYC' as the unit. At the bottom is a large green button labeled '送金' (Send).

7. QRコードで送金内容を読み込む

支払いリクエストの QR コードを読み取ると、送金パネルの各欄（通貨・送金先・金額）が自動で入力されます。読み取り方法は 2 通りあります。

7.1 アプリ内スキャナで読み取る

1. 送金パネルの右上にある **QR ボタン**を押します。
2. カメラが起動するので、QR コードにかざします（自動で読み取ります）。
3. カメラが使えない場合は、コードを貼り付けて読み込むこともできます。



7.2 標準カメラで読み取る（印刷された QR）

お店などが印刷して掲示した支払い用リンクの QR コードは、**スマートフォンの標準カメラ**で読み取れます。読み取るとリンクが表示され、タップすると Openloop Pay が開いて送金内容が自動入力されます。

7.3 読み取り後の動作

- ・送金に必要な項目（通貨・送金先・金額）が**すべて揃っている**場合は、そのまま**確認画面**が開きます。確認画面には「QR コードから読み込みました」と表示され、内容を確認して承認できます。
- ・足りない項目がある場合は、何を読み込んだかを知らせたうえで、**不足している欄の入力**を促します。

送金

QRコードから読み込みました

J

1,000 JPYC

Polygon Amoy

送金先
0x1234567890AbCdEf1234567890AbCdEf12345678

キャンセル

承認

送金・署名内容は Openloop デバイス上でも確認してください。
自動で閉じます (残り 88 秒)

QRコードから読み込みました

金額を入力してください。

OK

印刷された紙の QR でも使えるよう、標準的な形式 (EIP-681) を採用しています。BBQr のような分割 QR は使いません。

8. アカウントの切り替え

1 台の Openloop には複数のアカウントがあります。ウォレットカードの「アカウント切り替え」から、表示・送金に使うアカウントを切り替えられます。



- ・一度選んだアカウントは、この画面で記憶されます。次回以降は自動でそのアカウントが表示されます。
- ・別のアカウントを使いたいときだけ、「アカウント切り替え」を押して選び直します。

9. 履歴とCSVの書き出し

送金の記録は、メイン画面の履歴に表示されます。



- ・各送金のトランザクション ID から、ブロックチェーンエクスプローラーで詳細を確認できます。
- ・履歴の右上の書き出しボタンから、記録を CSV ファイルとして書き出せます。会計や記帳にご利用ください。

履歴はお使いの端末（ブラウザ）内にのみ保存されます。外部サーバーには送信されません。

10. dApp との連携（拡張機能のみ）

デスクトップの**ブラウザ拡張機能版**の Openloop Pay は、ウェブサイト上の **dApp**（分散型アプリ）と直接連携できます。dApp が要求した接続や署名を、Openloop Pay 経由で Openloop デバイスに橋渡しし、必ず本体画面で最終確認してから承認します。

ウェブアプリ版・スマートフォン版には dApp との連携機能はありません。dApp と接続したいときは、デスクトップのブラウザに Openloop Pay 拡張機能をインストールしてください。

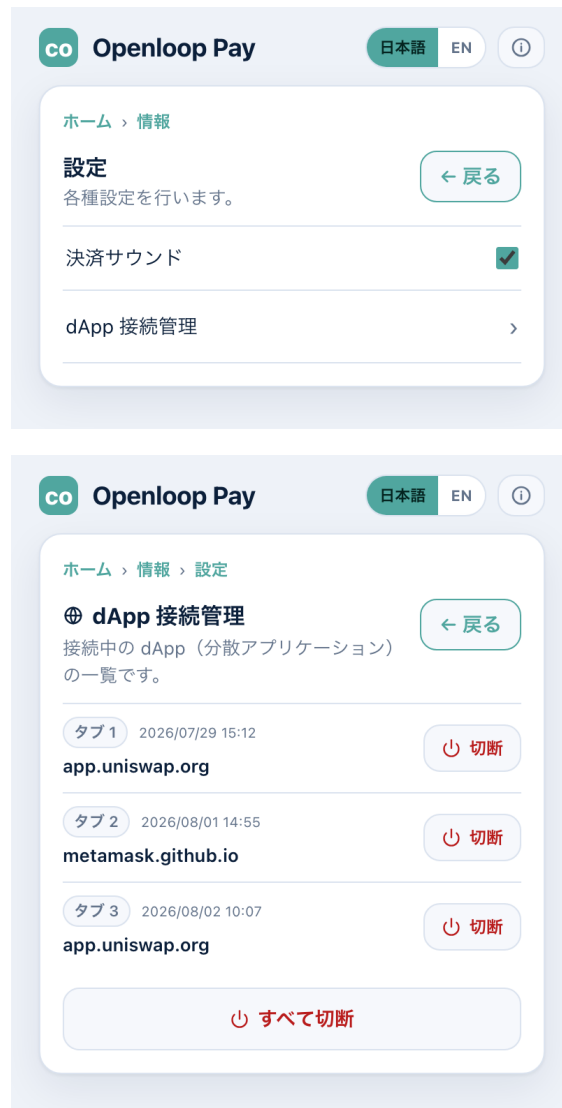
10.1 dApp との接続の仕組み

- ・ Openloop Pay 拡張機能は、ブラウザ上で **EIP-6963**（複数のウォレットプロバイダを並存させる仕様）と **EIP-1193**（プロバイダの共通 API）に対応しています。dApp のウォレット選択画面に「**Openloop Pay**」として表示されます。
- ・ 接続は**タブごと**に独立に許可されます。dApp を開いたタブごとに、接続（ウォレットアドレスの共有）を個別に許可・管理します。同じサイトでも別のタブで開けば、それぞれ独立した接続になります。
- ・ 送金や署名の要求は Openloop Pay の画面で確認できるほか、必ず Openloop デバイス本体の画面でも内容を確認してから承認します。

10.2 接続中のサイトを見る

現在どのサイトに接続を許可しているかは、いつでも確認できます。

1. ⓘ ボタンを押して**情報**画面を開きます。
2. **設定**、を選びます。
3. **dApp 接続管理**、を選びます。
4. 接続中のサイトの一覧が表示されます。各行には、接続した**タブ番号**と接続日時、そのサイトの**ホスト名**が表示されます。



接続はブラウザのタブ単位です。 同じサイトを複数のタブで開いて接続すると、それぞれが別の接続として別の行に表示されます（上の例では `app.uniswap.org` が「タブ 1」と「タブ 3」の 2 行に出ています）。タブを閉じると、そのタブの接続は自動的に解除されます。切断も**タブ単位**で行われます。

10.3 タブごとに切断する／すべて切断する

- ・ 各行の**切断**ボタンを押すと、その接続（そのタブ）だけが解除されます。切断された接続からは Openloop Pay のアドレスが見えなくなり、次回に接続を要求してきた際は改めて許可が必要です。他のタブ・他のサイトはそのまま接続を維持します。
- ・ 画面下部の**すべて切断**ボタンを押すと、接続中のすべてのサイト（すべてのタブ）の許可を一括で解除します。あわせて、Openloop デバイスとの接続も解除されます。
- ・ ウォレットカードの「切断」ボタンからでも、接続中のすべての dApp が同時に切断されます（デバイスとの接続を切ると、どのサイトからもアドレスは見えなくなります）。

10.4 サイドパネルが閉じているときの案内

Openloop Pay のサイドパネルを閉じた状態で、dApp から署名やアカウント切り替えなどの操作を行うと、小さな案内ポップアップが表示されます。「開く」ボタンを押すとサイドパネルが開くので、dApp の操作をやり直してください。



11. セキュリティ

Openloop Pay は、安全に送金するための仕組みを備えています。

- ・ **秘密を持たないコンパニオンウォレット** — Openloop Pay 自身は秘密鍵やシードフレーズを保存せず、ウォレットの本体を持ちません。鍵は Openloop デバイス（またはお使いのウォレット）の中だけにあります。ブラウザに鍵を保存する一般的なウォレットと違い、たとえ Web アプリや拡張機能が攻撃されても、そこに盗まれる秘密が存在しません。
- ・ **非カストディ** — 秘密鍵は Openloop 本体（またはお使いのウォレット）の中に留まります。Openloop Pay が秘密鍵を保存・取得することはありません。
- ・ **署名前の確認** — 送金は必ず確認画面で内容（送金先・金額・ネットワーク）を確認してから承認します。Openloop で署名する場合は、本体の画面でも内容を確認できます。
- ・ **接続端末の検証** — 署名の前に、接続中の端末が表示中のアカウントと一致するかを確認します。別の端末が接続されている場合はエラーを表示し、誤ったアカウントでの送金を防ぎます。
- ・ **確認画面の自動クローズ** — 確認画面を開いたまま放置すると、安全のため自動的に閉じます。
- ・ **送金先の全桁表示** — 送金先アドレスは省略せず全桁を表示します。
- ・ **dApp 接続はタブごとに許可**（拡張機能のみ） — dApp との接続は、dApp を開いたタブごとに独立して許可・管理されます。同じサイトでも別のタブで開けば、それぞれ独立した接続になります。いつでも情報 → 設定 → dApp 接続管理から、タブごと、または一括で切断できます (§10)。

11.1 ご利用にあたっての注意

- ・ 暗号資産の取引は**取り消しできません**。送金先と金額は必ず確認してください。

- ・リカバリーフレーズ（回復用の言葉）は誰にも教えないでください。Openloop Pay がリカバリーフレーズを尋ねることはありません。
- ・読み取った QR コードや支払いリクエストの内容も、送金前に必ず確認してください。

12. トラブルシューティング

カメラが使えない／許可されない

ブラウザの設定でカメラの使用を許可してください。アドレスバーのカメラアイコンから許可できる場合があります。一部のブラウザ（拡張機能のサイドパネルなど）ではカメラを利用できないことがあります。その場合はコードの貼り付けをご利用ください。

USB の Openloop が選択画面に出てこない（拡張機能）

拡張機能のサイドパネルでは USB の選択画面が開けないことがあります。フルタブ（別タブ）で接続をお試しください。また、Openloop Connect などと同じ端末を使用していると、USB が占有されて選べないことがあります。

追加したいネットワークが一覧に出てこない

このアプリに接続先（RPC）が用意されていないネットワークは、残高の取得・送金ができないため一覧に表示されません。RPC が分かる場合は「見つからない場合（手動で追加）」から手動で追加できます。

WalletConnect で「接続できません」と表示される

通信の確立に時間がかかっている場合があります。少し待ってから、もう一度お試しください。

送金確認画面が閉じない／応答がない

接続したウォレットからの応答を待っています。「キャンセル」で確認画面を閉じ、もう一度お試しください。

ネットワークが合っていない

WalletConnect のウォレットが、送りたいネットワークと違うネットワークになっていることがあります。ウォレット側でネットワークを合わせてください。

13. 仕様

13.1 対応トークン（組込）

Openloop Pay は **EVM 系**（Ethereum とその互換チェーン）のトークンにのみ対応します。以下 **3 種類**のステーブルコインが組込済で、追加操作なしに送受金・残高表示できます。

トークン	対応メインネット
JPYC	Ethereum / Polygon / Avalanche C-Chain / Kaia（4 チェーン）
USDC	

トークン	対応メインネット
	Ethereum / Polygon / Avalanche C-Chain / Base / Arbitrum One / OP Mainnet (6 チェーン。Circle 発行のネイティブ USDC)
USDT	Ethereum / Polygon (2 チェーン)

テストネット用の JPYC は Sepolia / Polygon Amoy / Avalanche Fuji / Kaia Kairos の 4 チェーンで提供します（「テストネットを表示」で表示・§4.1）。

13.2 対応ネットワーク（組込）

種別	ネットワーク
メインネット（7）	Ethereum / Polygon / Avalanche C-Chain / Base / Arbitrum One / OP Mainnet / Kaia
テストネット（3）	Sepolia / Polygon Amoy / Base Sepolia

各ネットワークには公開 RPC（publicnode 系）とブロックチェーンエクスプローラーの URL が同梱されます。

13.3 追加トークン・追加ネットワーク

- ・ **追加トークン検索** — Openloop 本体と同じトークン辞書（923 シンボル／2,552 コントラクト）から、シンボルまたは名前で検索して追加できます（組込の JPYC / USDC / USDT を除く）。
- ・ **手動追加（トークン）** — 辞書にないトークンは、コントラクトアドレスと対応ネットワークを入力して追加できます（「未確認」表示になります）。
- ・ **追加ネットワーク** — 組込の 10 ネットワーク以外の EVM 系チェーンを、名前・RPC・エクスプローラー URL を指定して追加できます。

13.4 dApp 対応（拡張機能のみ）

ブラウザ拡張機能版は、以下の標準で dApp と接続します。

項目	対応内容
プロバイダ API	EIP-1193 (<code>window.ethereum</code> インターフェース)
プロバイダ発見	EIP-6963 (Multi Injected Provider Discovery。他ウォレットと並存)
チェーン識別	EIP-155 / CAIP-2
対応 RPC メソッド	<code>eth_requestAccounts</code> / <code>eth_accounts</code> / <code>eth_chainId</code> / <code>eth_sendTransaction</code> (EIP-1559 type-2 tx) / <code>personal_sign</code> / <code>eth_signTypedData_v3</code> /

項目	対応内容
	eth_signTypedData_v4 (EIP-712) / wallet_switchEthereumChain (EIP-3326) / wallet_addEthereumChain (EIP-3085)
非対応	eth_signTypedData_v1 (レガシー・型情報不足のため意図的に非対応) / eth_sign (生ハッシュのブラインド署名。要求時は強い警告表示)
許可単位	タブごと (dApp を開いたタブ単位) に独立に許可・切断 (§10)

13.5 WalletConnect 対応

- ・ **WalletConnect v2** — ウォレット接続クライアントとして対応 (Openloop Pay 自身はウォレットではなく、コンパニオン/dApp 側です)。
- ・ 接続方法: QR コード読み取り、または対応ウォレット一覧からの選択 (Openloop Connect ほか、WalletConnect v2 対応の任意のウォレット)。
- ・ 送金は接続したウォレット側の**現在のネットワーク**でブロードキャストされます。異なるネットワークで送りたい場合は、ウォレット側でネットワークを合わせてください。

13.6 支払いリクエスト QR

- ・ **EIP-681** — 標準の `ethereum:` URI 形式 (コントラクトアドレス / `transfer` 関数 / チェーン ID / 数量) に対応します。印刷された紙の QR コードでも、スマートフォンの標準カメラから開けます (§7)。
- ・ BBQR のような分割 QR 形式は使いません。

13.7 ウェブアプリ版と拡張機能版の比較

項目	ウェブアプリ	ブラウザ拡張機能 (Chrome / Edge)
実行環境	デスクトップ / スマートフォン	デスクトップのみ
Openloop (USB)	○ (WebHID 対応ブラウザ)	○ (フルタブでの許可が必要な場合あり)
Openloop (Bluetooth)	○ (対応スマートフォン)	× (拡張ではブラウザ側の権限で制限)
WalletConnect	○	○
dApp 連携 (EIP-6963 / EIP-1193)	×	○
QR コード (カメラ読み取り)	○	△ (サイドパネルでは不可の場合あり)
支払いリンクからの起動	○	○

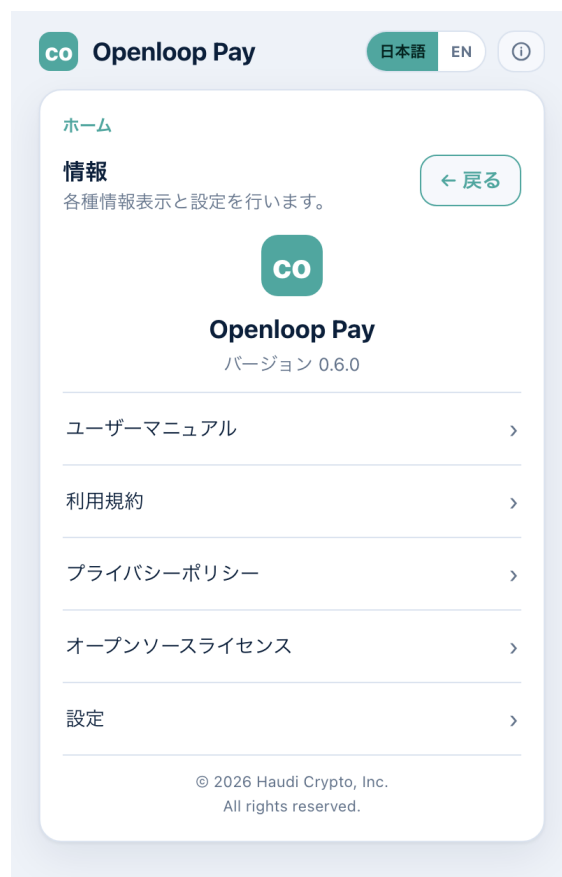
項目	ウェブアプリ	ブラウザ拡張機能（Chrome / Edge）
履歴・アドレス帳の保存先	ブラウザ内	拡張のストレージ内

14. お問い合わせ

ご不明な点やお困りのことがありましたら、以下までご連絡ください。

株式会社ハウディ・クリプト / Haudi Crypto, Inc. メール: support@crypto.haudi.jp

アプリ内の ⓘ（情報）ボタンからも、バージョンや各ドキュメントへのリンク、設定画面（決済サウンド、dApp 接続管理）へ移動できます。



関連ドキュメント: [利用規約](#) / [プライバシーポリシー](#) / [ライセンス](#)